



市総合防災訓練が10月6日、滝沢総合公園の体育館と多目的広場で実施されました。局地的大雨による土砂災害や浸水被害を想定した訓練で、各自治会の住民の他、鶉飼小学校の児童や消防、警察、協力企業などが参加しました。

上下水道部では給水車による給水訓練を実施し、参加した住民や職員は真剣に訓練に取り組みました。

今後も災害時に備え、定期的な訓練を行い、市民への情報の提供や災害時の連携強化、技術の習得と継承を図っていきます。

給水車に応急給水栓を接続



災害時の応急給水は給水車などを用いて学校や公民館などに給水所(給水拠点)を設けて行います。給水所には応急給水栓を用意し、市で所有している給水車や給水コンテナから水を供給して水道水を配ります。

非常用飲料水袋(給水袋)への給水

今回は参加者に給水袋への給水を体験してもらいました。給水袋の容量は6Lで、リュックサックのように背負うことができます。また、他の応急給水用の容器としてポリタンクを用意して給水袋を背負う場合と比較してもらって「手で持つのは大変だけど背負うと運べる」といった声がありました。

災害時には給水所で給水袋をお配りします。



災害に備えて…

飲料水の備蓄

1人当たり1日3Lの飲料水を3日分備蓄することが必要とされています。

飲料水は「水」だけでなく「お茶」や「清涼飲料水」でもOKです。



生活用水の代替品の準備

ウェットティッシュがあると水で手が洗えないときに便利です。

水を使わないシャンプーや紙皿などもあれば水の節約になります。



生活用水の確保

お風呂の水を捨てずに溜めておくと、洗濯用やトイレなど生活用水として使用できます。

